

2025年度 ニチキッズさつき野駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月16日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもが自分で選択・決定し、じっくり遊び込める保育環境を整え、子ども一人ひとりの思いを大切にしたい気持ちに寄り添う保育を行うことができた。
子どもの発達援助	一人ひとりにあった柔軟な保育が行えるよう、子どもの成長や発達段階、情緒面など職員間で話し合い共有しながら計画を立てることを心がけてきた。背景や環境なども視野に入れながらより子どもの発達・成長に沿った保育を行っていききたい。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時を利用し、子どもの様子や成長を伝え、保護者の声にも耳を傾けるよう心掛けた。また、担任に限らず全ての職員が子どもの様子を把握し、信頼関係を築いて行けるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	園内研修では担当を決め、職員一人ひとりの疑問点を解消しスキルアップを図ってきた。定期的な職員面談や職員同士の話し合いの場を作りよりチームで保育をしていく意識を持ち、質の向上を目指していききたい。

総評
子どもたちが安心して伸び伸びと過ごすことを常に念頭に置きながら、子どもたちが自分で選択をし、好きな遊びをおもいっきり楽しめる環境設定の工夫を職員間で話し合いながら取り組んできた。コーナー作りや玩具の置き方の工夫をしたことで、子どもが自分で遊びを選べる楽しさ、率先して片付けをしようとする姿など主体的な行動に変わり成長がみられた。また次年度は子どもの行動の背景にある思いや発達段階を意識し、よりよい関わりや言葉かけについて更に学び、保育に取り組んでいきたい。